

# 平成30年度 消防本部 方針書

消防長 大石 義孝

## 1. 消防本部の使命（役割）

災害現場の最前線で活動する組織として、その誇りと責任を持ち、市民の負託に応える

## 2. 平成30年度における課題（前年度の振り返りから）

1. 南分署(仮称)庁舎完成に向けた取り組み
2. 大規模災害への対応
3. 消防団統合に向けた協議

## 3. 平成30年度の『スローガン』

～For The All～  
持てる力を結集し、チームワークで市民を護る

## 4. 年度目標となる方針（目標）

1. 人材育成への取り組み
2. 確実な分署統合の推進
3. 災害に強いまちづくりを目指す

## 5. 重点取組項目

(1)	項目	人材育成への取り組み
	取組内容	1. 若年者の育成(多様な現場状況に即した活動ができる職員の育成) 2. 消防職員としての自覚保持と服務規律の指導 3. 予防行政に係る職員の育成
(2)	項目	確実な分署統合事業の推進
	取組内容	1. 南分署(仮称)整備事業完了に向けた取り組み(建設本体工事、通信指令システム移設等の実施) 2. 西分署(仮称)整備事業の推進(造成工事、実施設計等の実施) 3. 統合後の人員配置及び効率的な事務作業配分の検討
(3)	項目	災害に強いまちづくりを目指す
	取組内容	1. 大規模災害時における対応(危機管理課、関係部局との連携強化) 2. 消火活動の困難性の高い地域、防火対象物における警防計画の作成 3. 重大な法令違反防火対象物への指導強化 4. 消防団を中核とした防災力の向上 ①消防団統合に向けた協議及び条例改正 ②消防団活動に対する市民意識の向上 ③秋田県消防大会開催による消防団活動の啓蒙

## 6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況 【現状】

1. 若年者に対する基礎訓練に加え、全職員による総合訓練を実施し、各種災害対応能力の向上を図った。
2. 仮称南分署は、建設本体、機械設備及び電気設備の各工事を発注、仮称西分署は、用地取得後、造成及び水道管工事を発注しすべてにおいて工事に着手した。
3. ①危機管理課との連携を深め、風水害が想定される事案について早期に広報活動を行い市民の安全確保に努めた。  
②消防団統合時期を平成31年4月1日と決定し、消防団の関係条例改正に着手した。

## 7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

1. 若年者にとって経験値の低い冬期間の災害に向けた訓練を実施する。
2. 仮称南分署の外構工事、通信指令システム移設工事を実施し、年度内完成を目指す。
3. 消防団の関係条例改正案を12月議会に上程する。

## 8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

1. 分署統合事業も順調に進み、南分署庁舎も完成し今年度中の運用が開始される。西分署建設予定地の造成工事も無事完成し、次年度の庁舎完成を目指し確実な事業展開を図る。
2. 消防団員の減少により、消防団の組織改革として「第1次消防団改革計画」を計画どおり実施し完了、次年度より「第2次消防団改革計画」に取り掛かる。  
次年度より8消防団体制を1消防団に統合した新横手市消防団が発足する。今後、新団長の下消防団統合後の円滑な運営を行うため体制強化を図る。
3. 増田地区の重伝建、木造住宅密集地、無水利地区等における火災等災害発生時の警防計画を作成し、その計画を基に実践的な訓練を行い現場活動能力の向上を図る。